

第 75 回全国植樹祭埼玉県実行委員会 設立趣旨

埼玉県には、県土の約 3 分の 1 を占める森林があり、奥秩父に残された原生林から、山地・丘陵地に植栽されたスギ・ヒノキの林業地、コナラ・クヌギなど武蔵野の面影を残す平地林まで、多彩な姿を見ることができます。

このような多彩で豊かな森林が生み出す豊富な清流は、生活用水をはじめ農業用水や工業用水として様々な産業に利用され、県民生活を広く支えてきました。

また、戦後、林業地で植栽されたスギ・ヒノキの人工林は、その多くが木材として利用可能な時期を迎えています。この充実した森林資源を「伐って・使って、植えて、育てる」のサイクルで利用を進め、森林を適切に整備・保全していくことにより、水源涵養や地球温暖化防止、土砂災害防止など、森林の持つ多面的機能を持続的に発揮させながら、次の世代につないでいくことが重要となっています。

こうした中で、令和 7 年春に「第 75 回全国植樹祭」を本県で開催することは、極めて意義深いものであります。

この「第 75 回全国植樹祭」では、本県の豊かな森林や歴史・文化等の様々な魅力を全国に発信するとともに、山村と都市が協力して森林・みどりを守り育て、未来の子供たちへ繋いでいく絶好の機会と捉え、埼玉ならではの特色のある有意義な大会とします。

「第 75 回全国植樹祭」の開催に向け準備を進めるため、幅広い関係機関、関係団体の参画のもと、「第 75 回全国植樹祭埼玉県実行委員会」を設立します。

令和 4 年 9 月 2 日